



森林生態系からの恵み

私たちは、食べ物など森林から色々な恵みを受け取っています。

<p>森林は食べ物など必要な物を与えてくれます</p> <p>供給サービス</p> <p>木材 紙</p>	<p>水をきれいにしたり、災害を防ぎます</p> <p>調整サービス</p> <p>水資源の確保 土砂崩れ防止</p>
<p>空気をきれいにしたり、いい土を作ってくれます</p> <p>基盤サービス</p> <p>酸素の供給 豊かな土壌 気温や湿度の調節</p>	<p>レクリエーションなど人間の生活を豊かにします</p> <p>文化的サービス</p> <p>自然景観 レクリエーションの場 地域性豊かな風土</p>

森林のはたらき

自然環境を保全し、いろいろな生きものすみかになる

山くずれや土壌の流出を防ぐ

水を育み、洪水を防ぐ

木材やきのこなどの林産物の生産

風や砂、潮害を防ぐ

心のやすらぎを与えてくれる

二酸化炭素(CO₂)を吸収し、酸素(O₂)を供給する

森林は私たちの生活にとっても重要な役割を担っていて、私たちが大切に守り育てていかなければならないんだね!

「奄美群島の特徴的な森林環境」について

奄美群島の面積、約12万ヘクタールの3分の2を占める約8万ヘクタールは森林です。

奄美群島の気候は、亜熱帯海洋性で温暖多雨で、主要山岳として、湯湾岳(694m)、井之川岳(645m)、天城岳(533m)があり、北は奄美市から南は与論島に至る約200kmに渡り、イタジイを主体とする常緑広葉樹や常緑針葉樹があります。

ここでは奄美群島の特徴のある森林や樹木について解説し、また、森林を知る上で必要な森林のはたらきや森林生態系、生物多様性、世界自然遺産登録などについて説明します。

この教材は、森林環境教育の教材として、また、皆さんの地域の森林環境を知るための手がかりとなるものとして作製しました。

森林環境教育推進事業について

鹿児島県森林技術総合センターによる森林環境教育の実施

- 1 小中学校の児童生徒に対し、森林・林業の重要性や、森林の保全管理に関する学習、体験活動、森林の持つ生物多様性など、地域特有の身近なテーマに関する森林環境教育を実施します。
- 2 高校・大学等の学生に対し、森林の役割や木材の良さなどについての森林環境教育を実施します。
- 3 小中学校の教職員等を対象とした森林環境教育指導者研修を実施します。
- 4 森林環境教育については1回当たり2時間ほどをご用意ください。(年間1~3回)
- 5 資材・道具、バス等は県が準備します。

お問い合わせ
大島支庁 林務水産課 ☎0997-57-7285
鹿児島県森林技術総合センター ☎0995-52-0074
お問い合わせください

「生物多様性」って何?

生物多様性は、長い年月の中で作られた、かけがえないものなんだよ。私たちの暮らしは食料や水など、生物多様性を基盤とする生態系から得られる恵みによって支えられているんだ。

多くの種類の生物が存在することを生物多様性といい、そこには3つのレベルの見方があります。

<p>生態系の多様性</p> <p>サンゴ礁 マングローブ林 緑地帯 広葉樹林</p>	<p>種の多様性</p> <p>リュウキュウマツ ヒガクヘゴ リュウキュウイノシ アマミノクロウサギ アマミノコギリクワガタ</p>
<p>遺伝子の多様性</p> <p>リュウキュウカジガエル ヒメアマガエル ヌマガエル アマミノシガワガエル</p>	

奄美群島の人工林と天然林

人工林 4% 天然林 96%

森林面積 81千ヘクタール 全土の66%

天然林は自然の力で育ち、ほとんど人の手が入っていない森林です。奄美群島では、常緑広葉樹林となっている森林が多く、それぞれの地域に特有な森林が形成されています。

奄美群島では、他の地域と比べると、天然林の割合が多く、1年を通じて葉をつけているイタジイを代表とする常緑広葉樹が広がっています。これらの森林はさまざまな働き(多面的機能)を発揮しながら成長するよ。

人工林 1~5年 6~15年 15~50年

スギやヒノキなどの苗木を植栽し下刈りや除草、間伐の手入れを行うなど、人の手が入った森林です。

森林には人が育てたものと自然にできたものがあるって、どちらも私たちの生活と森の生き物たちの営みに大切な役割を持っているんだね。